

IV. 高等教育につながる学び

第1章

アドバンスト・サイエンス・プロジェクト (ASP) の概要

大 矢 美 香

(1) 目 標

アドバンスト・サイエンス・プロジェクト (Advanced Science Project) の目的は、名古屋大学との協同により、高等教育の先端的、専門的内容の学習を通して、地球市民としての高度なサイエンス・リテラシーを養い、高大接続の基盤を育むことにある。

生徒に身につけさせたい具体的な学びの力は 1. 科学への興味・関心、2. 科学的探求力 (データの解釈・分析・推論・批評)、3. 人間・自然・社会に関する深い科学的理解力、4. 論理的・多元的・批判的思考力と表現力、5. 科学的方法を用いた課題設定・課題解決力である。また、高大接続という観点からは、1. 学問領域の明確化、2. 自分の適性を知る、3. 自分の興味・関心を深く探る、4. 進路意識の明確化・構造化を目標として設定した。

(2) 学習方法

より発展的、先端的な内容を扱うために、専門研究を担う名古屋大学 (博物館、大学院生命農学研究科、発達教育研究科、情報科学研究科、環境学研究科、国際言語文化研究科、国際開発研究科、理学研究科) を中心とした高等教育機関と、中等教育を担う附属学校が協同で教育実践・研究を行った。アドバンスト・サイエンス・プロジェクト (ASP) では、高1から高3までの希望者が参加することとした。形態としては、名古屋大学博物館での実習および講義や附属学校での講義があり、土曜日や夏休み中に開催された。また、10回シリーズで規定の基準を満たせば、附属学校の単位として認定した。

今年度は、①生命科学探究講座②地球市民学探求講座③物理学探究講座の3講座を開講した。